

令和元年

一葉祭



11月 22日(金) 23日(土・祝) 24日(日)

午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)

開催期間中 入館無料



HP



たいとう文化発信
Culture of Taito City

一葉祭

開催期間中
入館無料



22日
(金)

申込不要
先着順

一葉小唄ごよみ

時間 午後1時/午後2時
会場 一葉記念館地下研修室
定員 各回60名程度(先着順)
出演 (一財)春日会社中

23日
(土・祝)

要申込
抽選

記念講演と朗読

時間 午後1時～午後3時30分(予定)
会場 一葉記念館地下研修室
定員 60名(抽選)
※館外にモニターを設置いたしますので、外でもご視聴いただけます。

記念講演 一葉 名作成立の要因とその背景—“大音寺前”転居の真相とは— 木村 真佐幸氏(札幌大学名誉教授・元学長)

一葉が台東区竜泉(いわゆる大音寺前)を転居先として選んだのはどのような背景があるのか——表面的には商売への転身が自明のことながら、半井桃水に対する“心の家出”、病魔、貧困、孤高への苦悶、母・多喜の〈土族意識〉など、葛藤のはざまで名作を昇華させた真相について、足で調べた資料に基づいてお話しします。

朗読 「大つごもり」を舞台にのせて

水谷 八重子氏(女優)

歌舞伎役者・14代目守田勘彌と初代・水谷八重子の長女として東京に生まれる。新派・歌舞伎座で初舞台。以後、出演した舞台は高い評価を得、文化庁芸術選奨最優秀賞、菊田一夫演劇賞など数多く受賞。朗読の世界においても新境地を開き、2003年より「水谷八重子Presents 朗読新派 大つごもり」を自らプロデュースし、古き良き日本語の美しさと時代の情緒を次世代に伝えることをライフワークのひとつとしている。紫綬褒章、旭日小綬章受章。

24日
(日)

要申込
抽選

文化ボランティアガイドによる「たけくらべ」ゆかりの地めぐり

時間 ①午前10時30分出発予定
②午後2時出発予定
※各回とも90分程度
集合場所 一葉記念館地下研修室
定員 各回30名程度(抽選)

作品展示

出展団体 台東区短歌連盟 会場 一葉記念館1階ギャラリー
台東川柳人連盟 展示期間 11月22日(金)～24日(日)
一葉俳句会



記念館へのアクセス
■地下鉄: 日比谷線三ノ輪駅 徒歩10分 ■都バス(都08): 日暮里駅・錦糸町駅より「竜泉」下車 徒歩3分 ■北めぐりん: 「一葉記念館入口」下車 徒歩2分 ■ぐるーりめぐりん: 「一葉記念館」下車 徒歩5分
■つくばエクスプレス 浅草駅 徒歩15分

同時開催

台東区立一葉記念館特別展

樋口一葉と明治の文芸雑誌



会期 11月2日(土)～令和2年1月26日(日)
休館日 毎週月曜日(祝休日の場合は翌平日)
10/28～11/1、12/29～1/3、1/27～31

応募方法

【締切】11月7日(木)《必着》

⚠️ 応募は各一人様各イベントにつき1通に限らせていただきます。複数名の記入のあるもの、往復はがきでないものは無効となります。

往信用裏面に

〇月〇日 希望するイベント名
(24日「ゆかりの地めぐり」は午前、午後いずれか)
②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号

往復はがき 返信用表面に住所・氏名をご記入の上、下記あてに郵送してください。

【宛先】〒110-0012 東京都台東区竜泉3-18-4
台東区立一葉記念館「一葉祭(イベント名)」係